

(8)

候補地の選定方法に関する説明会の結果

目次

説明会の結果	8-1
要約会議録	8-2

印西地区環境整備事業組合

次期中間処理施設整備事業用地検討委員会

説明会の結果

1. 説明会名

印西クリーンセンター次期中間処理施設の候補地選定方法に関する説明会

2. 説明会の目的

次期中間処理施設の候補地選定方法に関する下記の各案「本中間答申書本編（２）、（３）及び（４）の素案」に対し説明会を行うことで、より一層の情報公開、透明性の確保及び全員参加型の取り組みを推進する。

- （１）候補地の募集要項
- （２）候補地の比較評価項目・基準・配点
- （３）候補地の比較評価項目・基準・配点の補足資料

3. 日時

平成25年12月8日（日）14：00から16：30

4. 会場

印西地区環境整備事業組合 3階 大会議室

5. 次第

- 1 開会
- 2 用地検討委員会委員長あいさつ
- 3 用地検討委員会委員紹介
- 4 用地検討委員会事務局職員紹介
- 5 資料説明及び質疑応答
 - （１）候補地の募集要項（案）
 - （２）候補地の比較評価項目・基準・配点及び補足資料（案）
- 6 今後の予定について報告
- 7 閉会

6. 出席住民

22名

7. 会議録

次項の要約会議録のとおり。

印西クリーンセンター次期中間処理施設の
建設候補地選定方法に関する説明会
要約会議録

開催年月日	平成25年12月8日(日)			
開催時間	14:00～16:30			
開催場所	印西地区環境整備事業組合 3階大会議室			
出席者	住民	22名		
	委員	(一社) 廃棄物処理施設技術管理協会 会長	委員長	寺嶋 均
		(一財) 日本環境衛生センター 理事	副委員長	河邊 安男
		白井市公募住民	副委員長	渡邊 忠明
		持続可能な社会をつくる元気ネット 事務局長		鬼沢 良子
		東京電機大学 未来科学部 建築学科 教授		土田 寛
	事務局	印西地区環境整備事業組合	事務局長	岩崎 良信
		印西CC 技術班	工場長 主幹 副主査	大須賀 利明 高橋 康夫 川砂 智行
コンサルタント	(株) 日本環境工学設計事務所 技術部	課長 主任	朝日 大輔 糸山 豊	
配布資料	<p>(1) 説明資料</p> <p>資料No.1 候補地の募集要項(案)</p> <p>資料No.2 候補地の比較評価項目・基準・配点(案)</p> <p>資料No.3 候補地の比較評価項目・基準・配点の補足資料(案)</p> <p>(2) 参考資料</p> <p>参考資料No.1 用地選定に関する意見受付周知記事</p> <p>参考資料No.2 パブリックコメント周知記事</p>			

次第	頁
1 開会	8-4
2 用地検討委員会委員長あいさつ	8-4
3 用地検討委員会委員紹介	8-4
4 用地検討委員会事務局職員紹介	8-4
5 資料説明及び質疑応答	—
(1) 候補地の募集要項 (案)	8-4
(2) 候補地の比較評価項目・基準・配点及び補足資料 (案)	8-6
6 今後の予定について報告	8-8
7 閉会	8-8

次第1 開会

次第2 用地検討委員会委員長あいさつ

次第3 用地検討委員会委員紹介

次第4 用地検討委員会事務局職員紹介

次第5 資料説明及び質疑応答

(1) 候補地の募集要項(案)

事務局から資料No.1を説明

質問等1

中間処理施設を移転ありきで計画しているようだが、たくさんのお金を使って、無理にどこかに移転しなくとも、現在地で整備出来るのならば、そのほうが良いと思う。

最新施設の性能は凄く良いので、現在地で整備することについて住民からの反対の声は聞いたことがない。

次期中間処理施設を現在地で整備する考えはないのか。

回答1

資料No.1、P6に記載しているとおり、現在地は比較対象地の1つとして位置付けています。

質問等 2

蒸気の売却金額は、年間どの程度か。

回答 2

現クリーンセンター北側の商業ビルに熱供給している千葉ニュータウンセンターへ、現在、蒸気1 t当たり1,500円で売却をしており、年間では3千万円弱となります。

質問等 3

前回計画の検討委員会が審議した内容は、どのように取り扱うのか。

回答 3

前回計画の検討委員会で設定した比較評価項目等を基礎として、今回の検討を進めました。
また、前回計画で当時の関係市町村から推薦のあった5箇所は、現在も候補地としてなり得るか及び再度推薦するかどうか、現関係市町へ確認します。

質問等 4

前回計画で建設予定地とした9住区の現状は。

回答 4

土地所有者であるUR都市機構が55,000㎡を対象として、平成25年12月から販売の公募を開始しました。

質問等 5

応募がなかった場合の対応を資料No.1、P6に記載すべきでは。

回答 5

検討委員会への諮問事項に「募集の結果、応募がなかった場合の対応に関すること。」を掲げていることから、今後、検討します。

質問等 6

最終的に合意が形成されなかった場合の対応を資料No.1、P6に記載すべきでは。

回答 6

検討委員会が担任する事務は、候補地の審査結果を管理者へ報告するところまでとなります。

住民合意は組合が責任をもって形成を図るものなので、合意が形成されなかった場合の対応は、管理者の政策判断を含め、その時点において組合で検討するものと考えています。

なお、検討委員会への諮問事項に「候補地の周辺住民との合意形成に関すること。」を掲げていることから、最適な合意形成の方法や、どのような状況になれば合意と判断するかなどについては、今後、検討します。

質問等 7

前回計画で当時の関係市町村から推薦のあった5箇所は、現在も候補地としてなり得るか及び再度推薦するかどうか、現関係市町へ確認するとのことだが、新たな候補地の推薦依頼は行わないのか。

回答 7

前回計画で当時の関係市町村から推薦のあった5箇所の取り扱いと合わせて、新たな候補地の推薦依頼も行います。

質問等 8

前回計画で現在地での整備は見直してほしいという要望があったと思うが、現在地について印西市に確認せずに比較対象地の1つとして位置付けるのか。

回答 8

現在地の取扱いは検討委員会の会議で相当議論していただきましたが、既に建替用地として所有していること及び都市計画決定済みであることなどから、現在地は比較対象地の1つとして取り扱うことで決めています。

なお、前回計画の比較検討地5箇所は、当時の関係市町村から推薦いただいた土地なので、今回、現関係市町へ取り扱いを確認しますが、そもそも現在地は推薦された土地ではないことから関係市への確認は行わない考えです。

～暫時休憩～

次第5 資料説明及び質疑応答

(2) 候補地の比較評価項目・基準・配点及び補足資料(案)

事務局から資料No.2及び資料No.3を説明

質問等 9

資料No.2、No.9の地球温暖化防止について、収集運搬者から排出される温室効果ガスだけでなく、施設本体から相当量排出される温室効果ガスも考慮すべきではないか。

回答 9

どこに建設しても施設本体から排出されるガス量に違いは生じないことから、比較評価項目には加えていません。

質問等 10

資料No. 2、No. 9 の地球温暖化防止について、施設本体から排出される二酸化炭素は、森林が多い地域に建設すれば吸収されるので、有利になるのではないかと。

回答 10

煙突からの排出ガスは相当な範囲に拡散しますし、周辺の森林が施設本体から排出される二酸化炭素の何%を吸収するかについて算出することは出来ません。

質問等 11

資料No. 2、No. 9 の地球温暖化防止について、収集運搬車が電気自動車に切り替わることを想定しないのか。

回答 11

収集運搬車の電気自動車がいつ普及するのかということもありますが、仮に電気自動車であっても、火力発電所で化石燃料を使用し発電しているので、走行距離に応じて二酸化炭素は排出されます。

質問等 12

現施設の周辺にたくさんの居住者がおり、ごみ処理施設に対する健康不安はとても大きいと思うので、そうしたことを評価基準に加えるべき。

回答 12

次期中間処理施設は厳しい法規制を更に厳しくした住民協定をクリアする最新施設であることから、煙突から排出される有害物質は非常に微量であり、環境への影響は非常に少ないものとなります。

また、これから具体的に計画が進んでいくと、施設計画の前段で3～4年間掛けて環境影響評価を行います。その手続きの際、不安な点があれば意見書を提出することが出来ます。

質問等 13

資料No. 2、No. 16 の地域活性化への寄与について、評価基準としてごみ焼却熱の利用形態等を掲げているが、既に関連施設が整備されている現在地だけが有利になるのではないかと。

回答 13

評価項目及び基準は特定の用地を睨んで設定したものではありません。

地域活性化への寄与については、候補地毎の特性に応じた有効なプランや可能性があるものと考えています。

なお、資料No. 1、P5(6)⑤に記載しているとおり、地域活性化への寄与に関して、応募者から提案することも可能です。

質問等 14

今回の計画で、リサイクルプラザはどのように考えているのか。

回答 14

資料No.1、P3(4)③に記載しているとおり、環境に関する学習及び啓発を行うプラザ機能は整備することで考えていますが、現時点で具体的な施設内容及び規模等は決定していません。

事業費との兼ね合いもありますが、今後、候補地周辺の皆様との対話及び協議により具体的な整備計画を検討すべきものと考えています。

次第6 今後の予定について報告

事務局から今後の予定を報告

①平成25年12月22日

用地検討委員会の第9回会議を開催し、候補地の募集要項、候補地の比較評価項目・基準・配点及び補足資料等を決定

②平成25年12月25日

管理者へ前記決定事項を報告（中間答申）

③平成26年1月6日～平成26年3月31日

候補地の募集期間

質問等なし。

次第7 閉会

以上